

4tトラックに積載可能な小型汎用コンバイン

稲、麦、大豆、ソバ等多様な作物が1台で収穫できる、中山間地・小規模区画の地域でも利用可能な小型汎用コンバイン

研究開発の背景

- ・稲の他に大豆やソバ、ナタネを栽培している農家では、自脱コンバインと大豆用普通コンバインが必要。
- ・1台で多品目の収穫に対応可能な汎用コンバインが市販されているが、従来機は機体が大きく小区画・分散ほ場には適応できない。
- ・そのため、大型トラックの搬入が困難、あるいは小区画ほ場が分散した条件不利地域においても利用可能な汎用コンバインが求められている。

研究成果の内容

機動性に優れ、小区画ほ場でも利用可能な小型の汎用コンバイン

稲 麦 大豆
ソバ・ナタネを
1台で収穫



従来機と比べ小型化、軽量化を実現



4tトラックに搭載しての
移動が可能



導入
メリ
ット

作業性向上のための最新技術が満載



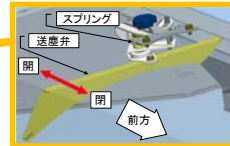
大豆の頭部
損失を低減
(狭ピッチ切断部)



機体内の点検や清掃が容易



大豆粒の
汚れが減少
(揺動選別部の
フッ化樹脂コート)

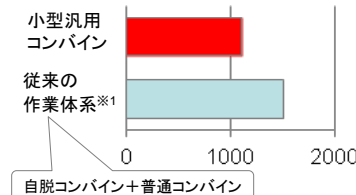


収穫作業が
高速化
(送塵弁開度制御機構による
脱穀部のつまり防止)

汎用性が高く
導入コストが低減

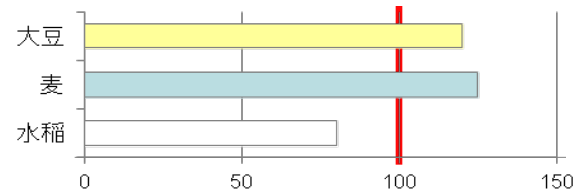
小区画・不整形な
ほ場で収穫可能

導入コスト(機械費)の比較(万円)



従来の作業体系とほぼ同等の作業能率

従来の作業体系*1を基準(100)とした場合の
小型汎用コンバインの作業能率**2の比較



*1:「従来の作業体系」とは4条自脱コンバインと大豆用普通コンバインを所有し水稲、麦、大豆等を栽培する生産者を指す。
*2:「作業能率」は、単位時間当たりの収穫可能面積(刈り幅×作業速度)

中山間地や区画整理が未実施な
地域で複合経営が可能

期待される効果

- ・機械導入コストの低減。
- ・多品目栽培による規模拡大や経営改善に寄与。

開発機関: 農研機構生物系特定産業技術研究支援センター、三菱農機株式会社

導入をオススメする対象

全国の中山間地等の大型機械の搬入が難しい地域、
平地の小規模区画の地域及び作業受委託が進んでいる地域 等